

# 『近世賃金物価史史料』に見る釘の価格

## Study on the price of nails seen in "Kinsei tingin bukka-si siryo"

平山 育男  
HIRAYAMA Ikuo

キーワード：和釘、価格、物価  
Keywords：Japanese nail, price, commodity price

This article examines the items of nails described in "Kinsei Tingin Bukka-si siryo", and the following points are clarified. In this paper, I revised the price of the nail in "Kinsei Tingin Bukka-si siryo" to comparable values and considered them.

Comparing the price of nails for each length, we were able to confirm three price ranges from 2 sun to 6 sun which had more than 10 items reported. The presence of three price ranges at the same nominal length is considered. It is due to the existence of three kinds of nails for each nominal length. Conversely, with Japanese nail in this era, it was impossible to know the actual length only from the nominal length of the nail. Therefore, in order to know the actual condition of Japanese nail called from 2 sun to 6 sun length, we need to consider the price fluctuation about price and correspond to the chart presented by the author this time.

### 1 はじめに

小柳津信郎による『近世賃金物価史史料』は、17世紀末期の元禄期以後における賃金と物価についての史料収集を行った労作である。同書では全国各地で出版された315件に及ぶ市史及び資料集などを渉猟し、金・銀・銭相場、給金に始まり、1年間の食料の見積、食費、鍋・釜など83件について価格を記載するもので<sup>注1)</sup>、この中に“釘”の項目が存在する。“釘”について小柳は、元禄10(1697)年から文久2(1862)年に及ぶ130件の記事を挙げており、この時代における建築資料として極めて有意義なものとなっている<sup>注2)</sup>。

しかし、この記事は原資料を列記するに留まるため、以下に示す問題を内包している。

#### 1) 釘の本数

記事では、それぞれで扱った本数が異なっているため、単位本数当たりの価格を知る場合は計算が必要となる。

#### 2) 釘の価格表示 銀と銭

記事では、原資料にある価格を記すため、価格の表示単位では銀立の匁と銭立の銭が混在する。

#### 3) 物価の変動

時代を越えて価格を比較する場合、物価の変動を考慮する必要がある。

#### 4) 釘の種類

釘固有の問題であるが、釘は呼称長に対し、複数種類の長さが存在する。それらが、この記事群においても複数種の長さが混在するのかわらかではない。

記事を見渡した場合、このような問題が指摘できる。そこで本稿においては、上述の各点について考慮して記事の内容を整理した上で、『近世賃金物価史史料』に示される釘の価格について検討を行い、この時代における和釘の特色について明らかにすることを目的とするものである。

## 2 問題点の対応—価格表示

本稿では、『近世賃金物価史史料』における釘の記事について『近世賃金物価史史料』における“釘”の記載として、元号、西暦、釘の種類、本数、価格、出典の項目を立てて再録し(表1-②)、整理のため各々の記事に番号を付した(表1-①)。

そして、上述した『近世賃金物価史史料』の釘の記載における問題点の内、価格表示の点などを中心に、その対処を施した。

### 2-1 釘の本数

釘の本数については、各記事の記載を共通した単位本数に換算する必要がある。単位本数として1本当たりの価格とすることも可能であるが、これは数値として小さくなり過ぎて扱いにくいものとなる。そのため、本稿では各記事における価格を釘100本当たりに換算して示すこととした(表1-③)。なお、表1では、原記載が銀立で行われる場合は、100本当たり換算値の枠内を「銀色」、銭立の場合は枠内を「橙色」とした。

### 2-2 釘の価格表示

釘の価格表示について、銀立と銭立の2種類が混在するため、各年における銀1匁当たりの銭の価格<sup>注3)</sup>を示し(表1-⑤)、これに基づき銀立の場合は銭立の換算値、銭立の場合は銀立の換算値を“100本当たり価格”の欄に示した(表1-③)。なお、これらは換算値として判別しやすいように、「白色」の枠表示とした。

### 2-3 物価の変動

物価の変動については、米価を用いて換算することとした<sup>注4)</sup>。今回は最も溯る項目が元禄10(1697)年であるため、この年における米価を1として、以下の年代における割合を示した(表1-⑥)。

その上で、各項目について、物価を換算した値として銀立、銭立の両者について“物価を換算した100本当たり価格”として示した(表1-④)。なお、ここでは換算値であること判別できるように、原資料の表記が銀立の価格枠内を「灰色」、銭立は「薄橙色」として表示した。

## 3 釘の呼称長ごとにみる価格の分布

『近世賃金物価史史料』における“釘”に関する130件の記事の内訳を釘の種類、つまり呼称長ごとに見ると、8分が2件、1寸が5件、1寸5分が5件、2寸が16件、3寸が24件、4寸が26件、5寸が31件、6寸が19件、

表1 「近世貨金物価史史料」における「釘」の記載と価格の調整

① 番号	②「近世貨金物価史史料」における「釘」の記載				③100本当たり価格		④物価換算した100本当たり価格		⑤銀1匁当たり 銭[文]	⑥米価換算 元 禄10(1697):1		
	元号	西暦	釘の種類	本数	価格	出典	銀[匁]	銭[文]			銀[匁]	銭[文]
1	元禄10	1697	6寸釘	54本	336文	田原藩日記	8.99	620	8.99	620	69	1.00
2	元禄10	1697	6寸釘	26本	160文		8.99	620	8.99	620	69	1.00
3	元禄10	1697	5寸釘	6本	24文		5.80	400	5.80	400	69	1.00
4	元禄12	1699	6寸釘	15本	75文	田原藩日記	6.76	500	9.05	670	74	1.34
5	元禄12	1699	5寸釘	8本	20文		3.38	250	4.53	335	74	1.34
6	元禄12	1699	5寸釘	13本	78文		8.11	600	10.86	804	74	1.34
7	正徳3	1713	6寸釘	100本	10.5匁	豊川市史	10.5	440	15.86	664	42	1.51
8	享保3	1718	5寸釘	130本	19.5匁	関市史	15	720	24.75	1188	48	1.65
9	享保8	1723	6寸釘	500本	金1分と500文 ※1	川越市史	2.22	180	1.56	126	81	0.70
10	享保8	1723	5寸釘	500本	816文		2.01	163.2	1.41	114	81	0.70
11	享保8	1723	4寸釘	400本	216文		0.67	54	0.47	38	81	0.70
12	享保8	1723	3寸釘	600本	200文		0.41	33	0.29	23	81	0.70
13	享保13	1728	6寸釘	100本	1.5匁	揖斐川町史	1.50	123	1.02	84	82	0.68
14	享保13	1728	3寸釘	150本	1.5匁		1.00	82	0.68	56	82	0.68
15	享保14	1729	8分釘	100本	銀2分5厘	甲州文庫史料	0.25	22	0.13	12	88	0.53
16	享保14	1729	1寸釘	100本	銀3分7厘		0.37	33	0.20	17	88	0.53
17	享保14	1729	1寸5分釘	100本	銀2分5厘		0.25	22	0.13	12	88	0.53
18	享保14	1729	2寸釘	100本	銀7分5厘		0.75	66	0.40	35	88	0.53
19	享保14	1729	3寸釘	100本	2匁1分		2.10	185	1.11	98	88	0.53
20	享保14	1729	4寸釘	100本	2匁5分		2.50	220	1.33	117	88	0.53
21	享保14	1729	5寸釘	100本	3匁4分		3.40	299	1.80	159	88	0.53
22	享保14	1729	6寸釘	100本	4匁8分		4.80	422	2.54	224	88	0.53
23	寛保2	1742	5寸釘	1本	5文	相良町史	7.94	500	9.21	580	63	1.16
24	延享2	1745	6寸釘	9本	1匁二付	敦賀市史	11.10	744	11.54	773	67	1.04
25	延享2	1745	5寸釘	11本	1匁二付		9.10	610	9.46	634	67	1.04
26	延享2	1745	4寸釘	18本	1匁二付		5.60	375	5.82	390	67	1.04
27	延享2	1745	3寸釘	30本	1匁二付		3.30	221	3.43	230	67	1.04
28	寛延元	1748	4寸釘	100本	1匁4分2厘	松山市史料集	1.42	102	1.60	116	72	1.13
29	寛延元	1748	3寸釘	100本	1匁2分1厘		1.21	87	1.37	98	72	1.13
30	寛延元	1748	8分釘	100本	文銀3分3厘	甲州文庫史料	0.33	24	0.37	27	72	1.13
31	寛延元	1748	1寸釘	100本	文銀5分2厘		0.52	37	0.59	42	72	1.13
32	寛延元	1748	1寸5分釘	100本	文銀7分8厘		0.78	56	0.88	63	72	1.13
33	寛延元	1748	2寸釘	100本	文銀1匁2分		1.20	86	1.36	98	72	1.13
34	寛延元	1748	3寸釘	100本	文銀1匁9分		1.90	137	2.15	155	72	1.13
35	寛延元	1748	4寸釘	100本	文銀3匁5分		3.50	252	3.96	285	72	1.13
36	寛延元	1748	5寸釘	100本	文銀5匁1分		5.10	367	5.76	415	72	1.13
37	寛延元	1748	6寸釘	100本	文銀7匁7分		7.70	554	8.70	626	72	1.13
38	宝暦元	1751	8寸釘	100本	8匁8分5厘	名古屋叢書	8.85	655	8.41	622	74	0.95
39	宝暦元	1751	7寸釘	100本	5匁1分4厘		5.14	380	4.88	361	74	0.95
40	宝暦元	1751	6寸釘	100本	2匁7分7厘		2.77	205	2.63	195	74	0.95
41	宝暦元	1751	5寸釘	100本	1匁6分2厘		1.62	120	1.54	114	74	0.95
42	宝暦元	1751	4寸釘	100本	9分8厘		0.98	73	0.93	69	74	0.95
43	宝暦元	1751	3寸釘	100本	6分6厘		0.66	49	0.63	46	74	0.95
44	宝暦元	1751	2寸釘	100本	3分7厘		0.37	27	0.35	26	74	0.95
45	宝暦元	1751	1寸5分釘	100本	2分3厘		0.23	17	0.22	16	74	0.95
46	宝暦元	1751	1寸釘	100本	2分		0.20	15	0.19	14	74	0.95
47	宝暦4	1754	4寸釘	40本	1匁二付	松山市史料集	2.50	180	2.48	178	72	0.99
48	宝暦4	1754	3寸釘	80本	1匁二付		1.25	90	1.24	89	72	0.99
49	宝暦4	1754	2寸釘	120本	1匁二付		0.83	60	0.82	59	72	0.99
50	宝暦4	1754	1寸5分釘	160本	1匁二付		0.63	45	0.62	45	72	0.99
51	宝暦4	1754	1寸釘	430本	1匁二付		0.23	17	0.23	16	72	0.99
52	宝暦5	1755	大5寸釘	35本	59文	世田谷区史叢書	2.49	169	3.13	213	68	1.26
53	宝暦5	1755	4寸釘	50本	30文		0.88	60	1.11	76	68	1.26
54	宝暦7	1757	6寸丸釘	10本	1匁二付	松山市史料集	10.00	690	7.40	511	69	0.74
55	宝暦7	1757	4寸釘	40本	1匁二付		2.50	173	1.85	128	69	0.74
56	宝暦7	1757	3寸釘	80本	1匁二付		1.25	86	0.93	64	69	0.74
57	宝暦7	1757	2寸釘	120本	1匁二付		0.83	57	0.61	42	69	0.74
58	宝暦7	1757	1寸5分釘	160本	1匁二付		0.63	43	0.46	32	69	0.74
59	明和2	1765	4寸釘	100本	2匁8分3厘	松山市史料集	2.83	181	3.11	199	64	1.10
60	明和2	1765	3寸釘	100本	1匁3分3厘		1.33	85	1.46	94	64	1.10
61	明和2	1765	2寸釘	100本	8分		0.80	51	0.88	56	64	1.10
62	明和2	1765	1寸釘	100本	3分4厘		0.34	22	0.37	24	64	1.10
63	安永7	1778	大6寸釘	100本	624文	成田市史	6.50	624	6.37	612	96	0.98
64	天明元	1781	6寸釘	28本	84文	猿投神社近世史	2.75	300	1.38	150	109	0.50
65	天明7	1787	3寸釘	18本	銀5分4厘	鯖江市史	3.00	282	2.91	274	94	0.97
66	寛政5	1793	4寸釘	20本	30文	韭山町史	1.67	150	1.85	167	90	1.11
67	寛政9	1797	4寸釘	17本	141文 100文二85匁	鹿嶋町史	8.13	829	8.21	837	102	1.01
68	寛政9	1797	4寸釘	8本	77文 100文二80匁		9.44	963	9.54	973	102	1.01
69	寛政9	1797	3寸釘	20本	100文		4.90	500	4.95	505	102	1.01
70	寛政9	1797	2寸釘	40本	100文二付		2.45	250	2.48	253	102	1.01
71	享和3	1803	5寸釘※2	11本	16文	富津市史	1.38	145	1.22	128	105	0.88
72	文化2	1805	4寸釘	600本	1672文	富津市史	2.71	279	2.33	240	103	0.86
73	文化2	1805	3寸釘	700本	1252文		1.74	179	1.49	154	103	0.86
74	文化2	1805	2寸釘	1000本	900文	揖宿史談	0.87	90	0.75	77	103	0.86
75	文化9	1812	5寸釘	200本	3匁3分	藤沢市史	1.85	178	1.39	150	108	0.84
76	文化11	1814	6寸釘	6本	36文		5.77	600	5.42	564	104	0.94
77	文化11	1814	6寸釘	40本	1匁1分2厘		2.80	291	2.63	274	104	0.94



78	文化11	1814	4寸釘	20	本	4分	刈谷町庄屋留帳	2.00	208	1.88	196	104	0.94
79	文化14	1817	5寸釘	3	本	27文	豊明市史	8.57	900	8.57	900	105	1.00
80	文政2	1819	2寸釘	100	本	60文値下55文	刈谷町庄屋留帳	0.47	55	0.39	46	117	0.83
81	文政2	1819	3寸釘	100	本	83文値下75文		0.64	75	0.53	62	117	0.83
82	文政2	1819	5寸釘	100	本	300文売288文二	小田原市史	2.46	288	2.04	239	117	0.83
83	文政2	1819	3寸釘	100	本	88文売86文二		0.74	86	0.61	71	117	0.83
84	文政9	1826	6寸釘	10	本	40文	多治見市史	3.92	400	3.76	384	102	0.96
85	天保元	1830	5寸釘	29	本	120文	佐久間町史	4.10	414	4.63	468	101	1.13
86	天保3	1832	3寸釘	16	本	32文	新装明野町誌	1.90	200	2.04	214	105	1.07
87	天保3	1832	3寸釘	20	本	文銀3分8厘		1.90	200	2.03	213	105	1.07
88	天保3	1832	4寸釘	2	本	文銀6厘		3.00	315	3.21	337	105	1.07
89	天保6	1835	4寸釘	8	本	24文	更埴市史	2.83	300	4.16	441	106	1.47
90	天保8	1837	5寸釘	100	本	3匁5分	浜田町史	3.50	364	6.72	699	104	1.92
91	天保8	1837	4寸釘	100	本	1匁6分		1.60	166	3.07	319	104	1.92
92	天保8	1837	3寸釘	100	本	8分		0.80	83	1.54	160	104	1.92
93	天保13	1842	2寸釘	100	本	1把5分売引下4分7厘売	半田市誌	0.47	50	0.50	54	107	1.07
94	天保13	1842	3寸釘	100	本	1把7分5厘売引下7分売		0.70	75	0.75	80	107	1.07
95	天保13	1842	5寸釘	1000	本	3貫664文	小田原市史	3.42	366	3.66	392	107	1.07
96	天保13	1842	4寸釘	1000	本	2貫100文		1.96	210	2.10	225	107	1.07
97	天保13	1842	3寸釘	1000	本	1貫164文		1.08	116	1.16	124	107	1.07
98	天保13	1842	2寸釘	1000	本	700文		0.65	70	0.70	75	107	1.07
99	天保13	1842	2寸釘	1000	本	700文之処値下648文売		0.61	65	0.65	70	107	1.07
100	天保13	1842	3寸釘	1000	本	1164文之処値下1100文売		1.03	110	1.10	118	107	1.07
101	天保13	1842	4寸釘	1000	本	2100文之処値下2000文売		1.87	200	2.00	214	107	1.07
102	天保13	1842	5寸釘	1000	本	3664文之処値下3500文売		3.27	350	3.50	375	107	1.07
103	天保14	1843	2寸釘	100	本	4分4厘売	半田市誌	0.44	47	0.47	50	107	1.07
104	安政2	1855	6寸釘	25	本	258文	印旛村史	10.98	1032	19.65	1847	94	1.79
105	安政2	1855	中5寸釘	10	本	25文	本埜村史	2.66	250	4.76	448	94	1.79
106	安政2	1855	并5寸釘	10	本	18文		1.91	180	3.43	322	94	1.79
107	安政2	1855	大5寸釘	10	本	164文		17.45	1640	31.23	2936	94	1.79
108	安政3	1856	4寸釘	20	本	80文	下田市史	4.12	400	7.59	736	97	1.84
109	安政3	1856	4寸釘	500	本	19匁		3.80	369	6.99	678	97	1.84
110	安政3	1856	3寸釘	1000	本	20匁		2.00	194	3.68	357	97	1.84
111	安政3	1856	小2寸釘	100	本	84文		0.87	84	1.59	155	97	1.84
112	安政4	1857	大5寸釘	100	本	6匁5分	下田市史	6.50	624	10.60	1017	96	1.63
113	安政4	1857	5寸釘	100	本	6匁		6.00	576	9.78	939	96	1.63
114	安政4	1857	4寸釘	100	本	3匁8分		3.80	365	6.19	595	96	1.63
115	安政4	1857	3寸釘	100	本	2匁		2.00	192	3.26	313	96	1.63
116	安政4	1857	大2寸釘	100	本	1匁		1.00	96	1.63	156	96	1.63
117	安政4	1857	小2寸釘	100	本	8分		0.80	77	1.30	125	96	1.63
118	安政4	1857	5寸釘	200	本	580文	寒川町史	3.02	290	4.92	473	96	1.63
119	安政4	1857	大6寸釘	10	本	50文	一宮市萩原町史	5.21	500	8.49	815	96	1.63
120	安政4	1857	4寸釘	10	本	32文		3.33	320	5.43	522	96	1.63
121	安政5	1858	大5寸釘	200	本	2貫700文	浦和市史	14.06	1350	25.59	2457	96	1.82
122	安政5	1858	並5寸釘	300	本	524文		1.82	175	3.32	319	96	1.82
123	安政5	1858	大5寸釘	1000	本	23匁		2.30	221	4.19	402	96	1.82
124	安政5	1858	中5寸釘	300	本	4匁2分		1.40	134	2.55	245	96	1.82
125	安政5	1858	5寸釘	10	本	20文	猿投神社近世史	2.08	200	3.79	364	96	1.82
126	安政5	1858	3寸釘	34	本	30文		0.92	88	1.67	160	96	1.82
127	文久2	1862	5寸釘	62	本	5分5厘	猿投神社近世史	0.89	85	1.79	172	96	2.01
128	文久2	1862	4寸釘	50	本	8分		1.60	154	3.22	309	96	2.01
129	文久2	1862	4寸釘	40	本	6分2厘		1.55	149	3.12	299	96	2.01
130	文久2	1862	並6寸釘	50	本	1匁7分		3.40	326	6.83	656	96	2.01

※1:金1分=400文とした ※2:『近世貨金物価史料』では“5本”とあった。

7寸が1件、8寸が1件の合計130件となる。

そこで件数が2桁以上となる呼称長2寸、3寸、4寸、5寸、6寸の記載を抽出し、価格の傾向を検討した。

### 3-1 2寸

呼称長2寸の釘は『近世貨金物価史料』に16件が掲載されており、これらによれば、物価換算した釘100本あたり価格における平均価格は銀立で0.93匁、銭立で86銭となり、価格の範囲は銀立で0.35匁から2.48匁の7倍程の範囲となる。

呼称長2寸の価格について、換算値を円化したものが図表1-1である。図表によれば換算値は0.9匁付近の他、1.5匁と、0.5匁付近に値が分布する。

### 3-2 3寸

呼称長3寸の釘は24件が記録される。呼称長3寸につ

いて物価換算した釘100本あたり価格における平均価格は銀立で1.71匁、銭立で157銭であるが、価格の分布は銭立で0.29匁から4.95匁で、17倍強の差となる。

そして、銀立の換算値を図表化したものが図表1-2である。これによると換算値の分布は平均値の1.7匁付近のほか、3匁以上に4件、0.5匁以下に7件分布することが分かる。

### 3-3 4寸

呼称長4寸の釘は『近世貨金物価史料』において26件の記載がある。これによれば、物価換算した釘100本あたり価格における平均価格は銀立で3.60匁、銭立で334銭となる。呼称長4寸の場合も価格の分布は広く、銀立で0.47匁から9.54匁で、最小と最大で20倍強の値となる。

また、銀立の換算値を図表化したものが図表1-3である。この図表によると換算値は平均値の3匁付近とは別に、倍

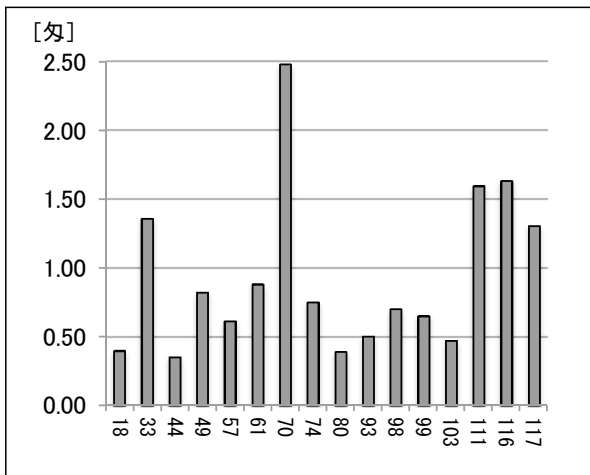


図 1-1 『近世賃金物価史史料』の数値を物価換算した2寸釘の価格

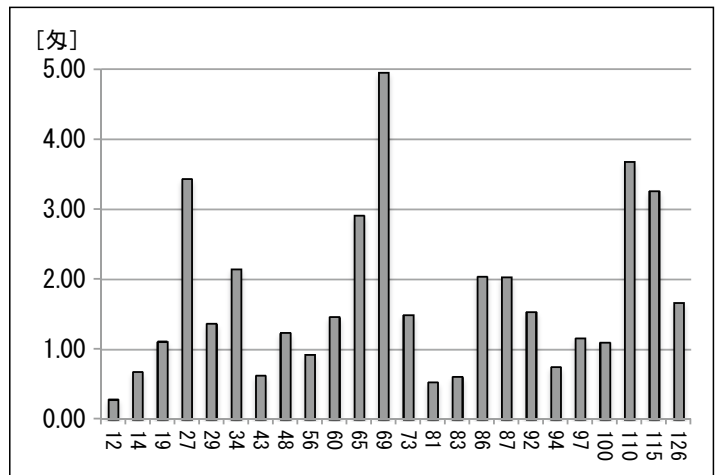


図 1-2 『近世賃金物価史史料』の数値を物価換算した3寸釘の価格

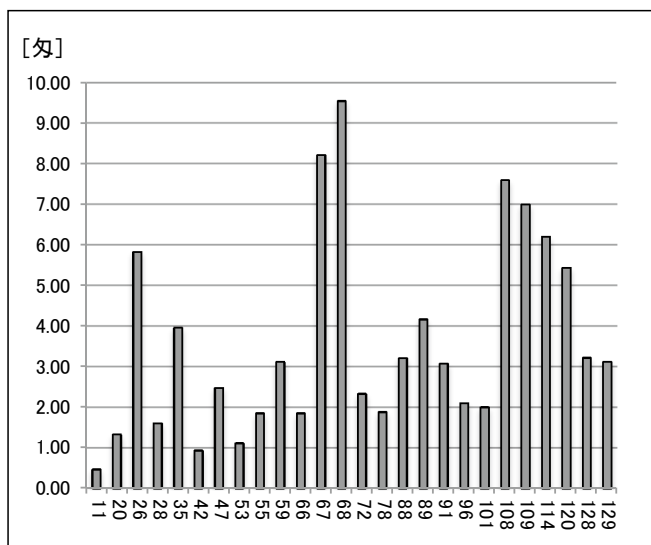


図 1-3 『近世賃金物価史史料』の数値を物価換算した4寸釘の価格

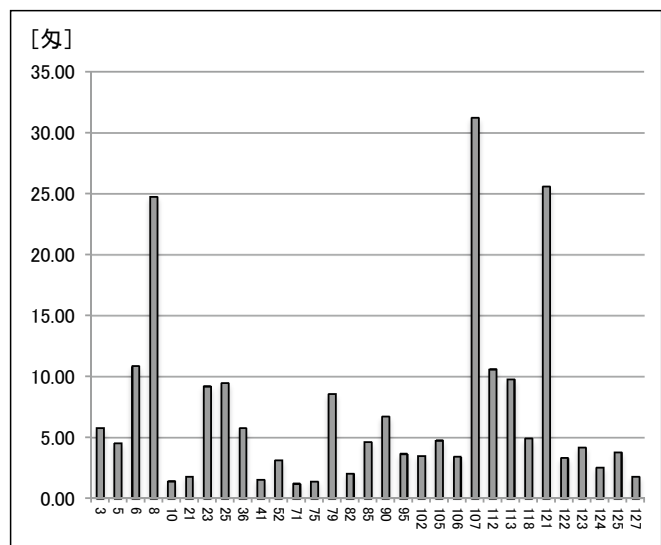


図 1-4 『近世賃金物価史史料』の数値を物価換算した5寸釘の価格

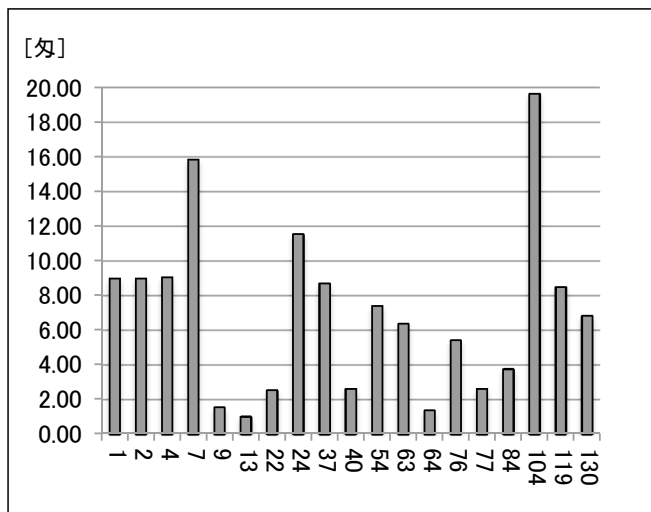


図 1-5 『近世賃金物価史史料』の数値を物価換算した6寸釘の価格

となる6匁付近と2匁付近に多数が分布すると見ることができる。

### 3-4 5寸

呼称長5寸の釘は31件の記事が記載される。この31件を見ると平均の価格は、物価換算した釘100本当たりの価格は銀立で6.97匁、銭立で593文となる。ところで、呼称長5寸釘の場合も価格の分布が巾広く、銀立で1.22匁から31.23匁と26倍程の範囲となる。

また、この関係を示した図表1-4によれば、平均となる7匁を中心として、5匁以下に19件、25匁付近に3件を確認することができる。

### 3-5 6寸

6寸の呼称長を持つ釘については19件の記載がある。これによると19件の平均価格は物価換算した釘100本当たり価格の銀立で6.99匁、銭立で548文となる。但し、価格の分布巾は広く、銀立で見ると1.02匁から19.65匁と約19倍に近い価格の開きのあることが分かる。

そしてこの関係を銀立の換算値について図化したものが図表1-5となる。これによると換算値は、平均値である



7 匁付近とともに 12 匁付近及び 2 匁付近に複数件が分布する傾向があると見ることができる。

#### 4 釘の種類ごと複数の価格帯のある理由

以上のように、2 寸から 6 寸の 5 種類について釘の価格を検討したが、いずれの呼称長の換算価格においても 3 種類の価格帯が存在することを確認できた。これはどのようなことを意味しているのでしょうか。

筆者は前稿において、明治 8（1875）年の長野県の開智学校における建築記録の内、特に和釘についてその種類や価格について検討を加えた。この成果によれば、呼称長 3 寸の和釘については

頭巻大三寸釘	床板	0.15 円
本三寸釘	垂木、蛇腹、天井板、屋根、傘棚	0.117 円
頭三寸釘	貫鼻隠、腰板、流板	0.008 円

とあるように 3 種類を確認でき、100 本当たりの価格では 19 倍程の開きのあることを示している<sup>注5)</sup>。

また、安田善治郎による『釘』によれば、呼称長 5 寸の和釘については平釘“五寸釘”の有数<sup>注6)</sup>は“四寸一分より四寸二分まで”<sup>注7)</sup>とあり、建築用角釘では“大五寸”の長さを“二寸一分 二寸二分”、“中五寸”の長さを“一寸六分”<sup>注8)</sup>として、やはり呼称長 5 寸釘の釘についても 3 種類の長さのあることを示している。

実際、『近世賃金物価史史料』の釘における記載でも、6 寸釘では“大 6 寸釘”、“並 6 寸釘”と少なくとも 2 種類の記載がある。更に 5 寸釘では“大 5 寸釘”、“中 5 寸釘”、“並 5 寸釘”などが混在し、同一の呼称長であるにも関わらず、多様な種類の釘が存在したことを示している。

以上のことから、和釘では一つの呼称長において複数の実長を有するものが存在したことは明らかである。そして、『近世賃金物価史史料』によれば各呼称長においては 3 種類の実長を持つものが混在したとするのが妥当である。

つまり、『近世賃金物価史史料』に記載される事項に限らず、少なくとも近世における和釘を考える場合、呼称長は正確に実長を示すものとなっていないことになる。

そのため、6 寸から 2 寸の呼称長を有する和釘について、その実態を考える場合には、物価の変動を考慮して、今回著者が示した図表 1-1～表 1-5 に対照させるのが一つの手立てとなる。

#### 5 さいごに

本稿では『近世賃金物価史史料』に記載される“釘”の項目を検討したが、明らかになるのは以下の諸点である。

『近世賃金物価史史料』の“釘”の項目に、17 世紀末期以後の 130 件に及ぶ釘の価格が示されるが、本数、価格、物価の変遷などの観点から、相互の価格を比較検討するため、価格の換算が必要になる。そのため本稿では、『近世賃金物価史史料』に記載される価格を 100 本当たりの価格に換算し、銀立と銭立を併記し、更にこれらを最も溯る元禄 10（1697）年の米価に基づいた換算値を併記し、考察の便を図った。その上で、釘の価格については以下の点を明らかにすることができた。

1) これらの換算値に基づき、呼称長ごとに価格を比較検討すると 10 項目以上の報告があった 2 寸から 6 寸で

は、いずれも 3 種類の価格帯を確認できた。

- 2) 同一呼称長における 3 種類に及ぶ価格帯の存在は、それぞれの呼称長に対して 3 種類の実長が存在したためと考えられる。逆に言えば、この時代における和釘では、呼称長だけからでは、その実長を知ることはできないことになる。
- 3) そのため、2 寸から 6 寸の呼称長で呼ばれる和釘の実態を知るには、その価格について物価の変動を考慮し、今回、著者が提示した図表に対応させて考えれば、その様態を知ることが可能となる。

#### 参考文献

- 1) 小柳津信郎：近世賃金物価史史料、成工社出版部、平成 10（1998）. 10
- 2) 平山：開智学校の建築資料に見る釘の使用と値段、長岡造形大学研究紀要第 15 号、65～70 頁、平成 30（2017）. 3
- 3) 安田善次郎：釘、博文館、大正 5（1916）. 12

#### 注釈

- 注 1) 参考文献 1)
- 注 2) 参考文献 1) 408～411 頁
- 注 3) 銀 1 匁当たりの銭の価格については、児玉幸多ほか：近世貨幣相場一覧、日本史総覧Ⅳ、546～575 頁、昭和 59（1984）. 5、を参照した。なお、記載は江戸のものを用い、価格に高低のある場合は平均値とした。
- 注 4) 米価の換算は、児玉幸多ほか：近世貨幣相場一覧、日本史総覧Ⅳ、546～575 頁、前掲、を参照し、これも価格に高低のある場合は平均値とした。
- 注 5) 参考文献 2) 68 頁
- 注 6) 実寸、実長を示すものと考えられる。
- 注 7) 参考文献 3) 54 頁
- 注 8) 参考文献 3) 66 頁